



各 位

脱炭素社会の実現に向けた中長期 CO₂ 排出量削減目標について

当社 三井金属（社長 納 武士）はこの度、中期の CO₂ 排出量削減目標を改定いたしましたのでお知らせいたします。

- ・中期 CO₂ 排出量削減目標【改定】
「2030 年度 までに CO₂ 排出量をグローバルで 38%削減する（2013 年度比）」
- ・長期 CO₂ 排出量削減目標【変更なし】
「2050 年度 までにカーボンニュートラル(Net 排出ゼロ)を目指す。」
注) 当社製造工程におけるエネルギー起因にて排出される CO₂ を対象とする。

Scope3^{*1} CO₂ 排出量につきましては、2021 年度より実態把握を進めており、今後それを踏まえた目標設定を検討します。

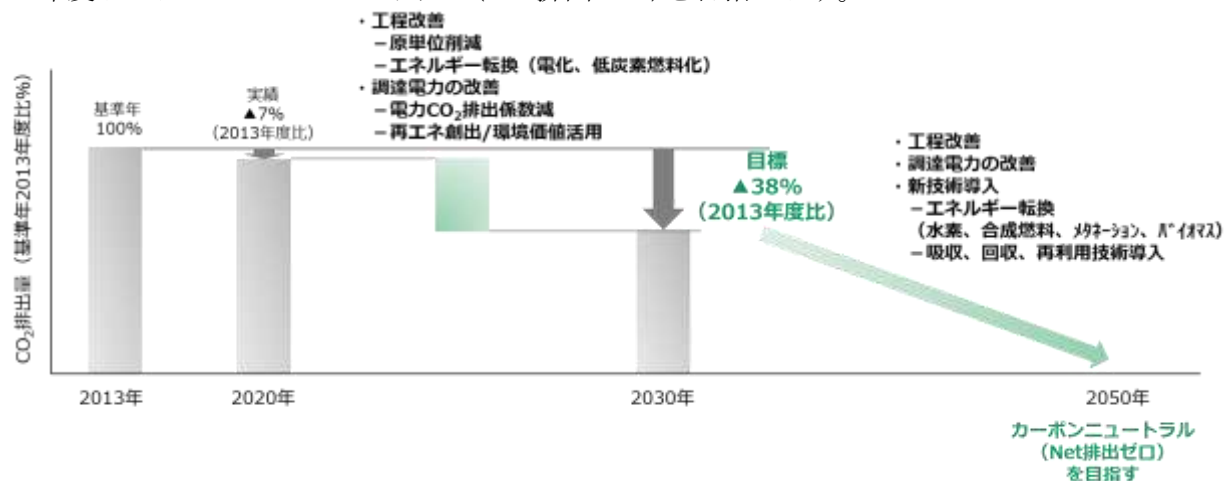
1. 中期 CO₂ 排出量削減目標「2030 年度までに CO₂ 排出量をグローバルで 38%削減する(2013 年度比)」

エネルギー原単位削減活動と電化や低炭素燃料へのエネルギー転換活動などの製造工程改善（一部活動はチャレンジ・ゼロ^{*2}に登録）に加え、2030 年度における発電 CO₂ 排出係数減と再生可能エネルギー活用による調達電力の改善により、2030 年度までに 38%(2013 年度比)を削減します。

※改定前 「2030 年度までに温室効果ガスの排出量を 26%削減（2013 年度比）」

2. 長期 CO₂ 排出量削減目標 「2050 年度までにカーボンニュートラル(Net 排出ゼロ)を目指す」

製造工程改善、調達電力の改善による CO₂ 排出量削減活動の継続に加え、今後期待される CO₂ フリー電力、CO₂ フリー燃料ならびに CCS、CCUS^{*3} など CO₂ オフセット技術を積極的に活用することで、2050 年度までにカーボンニュートラル(Net 排出ゼロ)を目指します。



3. 目標達成に向けた活動推進取組み

(1) CO₂排出量削減案件の創出

製造工程、設備機器、エネルギー転換による CO₂削減の改善に向けて、CO₂排出量削減案件を継続して創出する体制を整えるため、以下の取組みを行います。

① LCA(ライフサイクルアセスメント)^{※4}による改善ポイントの把握

次期中期経営計画(22中計)期間中(2022年度から2024年度)に全社にLCAを展開し、製品別、工程別CO₂排出量を定量化し、CO₂排出量削減策へ結びます。

② TCFDシナリオ分析に基づく戦略構築

22中計期間中にTCFDシナリオ分析を全社へ展開し、シナリオ分析の視点からCO₂排出量削減につながる戦略・戦術を立案します。

(2) CO₂排出量削減案件の実行推進

ICP(インターナルカーボンプライシング)^{※5}を活用した環境投資推進制度の運用
ICPを適用してCO₂削減効果を投資採算で評価することで、環境投資を推進します。
現在、制度の詳細検討を行っており、2023年度から運用する予定です。

上記の取組みで創出した案件、実行案件による削減計画をまとめた2050年カーボンニュートラル(Net排出)に至るロードマップを2022年度に整備します。このロードマップを継続的に見直し、新技術動向やコスト採算性の情報を更新することで、効果的かつ最適な施策実行タイミングを見極め、目標達成に向けた活動を進めてまいります。

以上

【お問い合わせ先】

三井金属 経営企画本部 コーポレートコミュニケーション部

TEL : 03-5437-8028 Eメール : PR@mitsui-kinzoku.com

【用語説明】

※1: Scope3

事業者のサプライチェーンにおける事業活動に関する間接的な温室効果ガス排出量

※2: チャレンジ・ゼロ

一般社団法人 日本経済団体連合会が日本政府と連携し、気候変動対策の国際枠組み「パリ協定」が長期的なゴールと位置づける「脱炭素社会」の実現に向け、企業・団体がチャレンジするイノベーションのアクションを、国内外に力強く発信し、後押ししていくイニシアティブ。

※3: CCS (Carbon dioxide Capture and Storage)、CCUS (Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage)

CCS: 排出されたCO₂を、ほかの気体から分離して集め、地中深くに貯留・圧入する技術。

CCUS: CCSにて分離・貯留したCO₂を化学品や燃料に利用する技術。

※4: LCA(ライフサイクルアセスメント)

LCAとは製品やサービスのライフサイクル(原料の採取、社内製造・加工過程、更にはその製品を使用、消費、廃棄プロセス)を通じた環境への影響を定量的に評価する手法。

【参考】「環境省 HP」

※5: ICP(インターナルカーボンプライシング)

低炭素投資・対策推進に向け、企業内部で独自に設定、使用する炭素価格。

【引用】「環境省 インターナルカーボンプライシング活用ガイドライン」